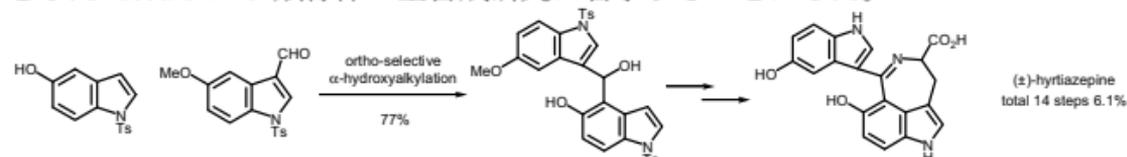


30P1-pm007

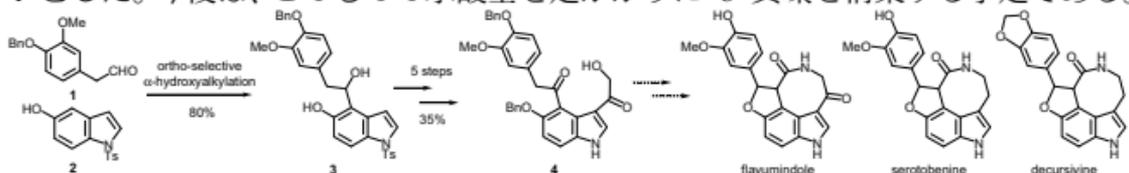
位置選択的 α -hydroxyalkylation によるインドールアルカロイドの合成研究

○伊藤 文博¹, 山口 健太郎¹ (¹徳島文理大香川薬)

【目的】 近年、我々は 5-hydroxyindole の *ortho*-selective α -hydroxyalkylation が 4 位選択的に進行することを見出し、本反応を鍵反応とした hyrtizapne の全合成を達成した。¹⁾ そこで、本反応を鍵反応としたインドールアルカロイドの効率的合成法を確立すべく、近年注目を集めている decursivine 類縁体に着目した。これらの基本骨格は酷似していることから、flavumindole を鍵中間体とすることで、他の類縁体に容易に変換可能と考えられる。以上のことから、我々は本反応を鍵反応とした decursivine 類縁体の全合成研究に着手することにした。



【結果・考察】 5-hydroxyindole **1** と benzaldehyde **2** との hydroxyalkylation により、**3** を収率 80% で得ることに成功した。その後、フェノール性水酸基の Bn 化、2 級水酸基の酸化、脱 Ts 化に続くインドール 3 位の修飾の後、5 工程収率 35% で **4** とした。今後は、このものの水酸基を足がかりに 8 員環を構築する予定である。



1) Ito, F.; *et al.*, *Tetrahedron* **2011**, 67, 8009-8013.